



良元通信

家庭数配布

みんなにとって良いことを みんなが元気になることを 令和5年(2023)10月30日号
校長 狩野 洋光

スポーツの秋、芸術文化の秋

季節はもうすっかり秋らしくなりました。地域では、だんじり祭り、解放文化祭、ふれあい運動会が行われました。本校の子どもたちも競技への参加や作品展示など、様々な形で参加しました。11月11日(土)には、良元コミュニティまつりが予定されています。地域の行事は、子どもたちが地域とのつながりを感じる貴重な経験の場ではないでしょうか。人は人を浴びて人になります。保護者、地域のみなさんの日々の見守りと声掛けに感謝いたします。

出会いこそ、生きる力 ～ サヘル・ローズさん 「心の教育講演会」11.28

「わたしは人権をもらえた」という言葉からお話が始まりました。4歳で戦争孤児となり、7歳のときに養母フローラさんと暮らすことになりました。1993年に来日。日本語は小学校2年生から習い始めたそうです。言葉や生活文化の違いからいじめや差別を受けることもあったそうです。戦争、偏見、差別、貧困、虐待、孤独、多くの経験から発せられる言葉から、大切にしたいことへの思いが伝わってきました。

「自分の幸せ、まず自分を否定せず、肯定して幸せに」

「子どもは、大人の背中を見て、コピーしている。どんな生き方を提示できるか」

「3秒まって話すことは大事。選ぶ言葉が変わる」

「『違い』を学校で学ぶきっかけに。興味関心があれば、差別や紛争を乗り越えられる」

「見える情報でひとくりにされて・・・」

「大人が幸せに、子どもも幸せに」

「読める、書けるは奇跡」

サヘル・ローズさんのお話から

来週は、人権同和参観懇談会があります。人権と命について、子どもの育ちについてともに考えていきたいです。よろしく願いいたします。

～ インターネットの記事、YouTube、図書館の書籍でも、サヘルさんのお話にふれることができます ～